



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 349

令和6年5月31日（金）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/misho/>



「仲間の心はいつも1つ!!」

校長 後藤 正美

「大人と子供が共に創る学校にしたい。意見を尊重する大人の姿勢を示したい。」
これは、前号の学校だよりで述べた私の思いです。

見小へお世話になって3年目、運動会で成長する子供たちを毎年見てきました。年度によって制限状況は変わりましたが、全校をリードする6年生の素晴らしい姿は変わりません。「つばさ学年」は、人数制限の中で内容を工夫し、「6年生ってすごい」という憧れ意識を引き出す活躍を見せました。昨年の「ひかり学年」は、「全力でやるってカッコいい」という姿を、態度で示してくれました。そして今年の「みらい学年」は、「アイデアを出し合い、全力で当日を楽しむ姿」を見せてくれました。

集団で一斉に行動しなくてはならない運動会ですので、体力的にも気持ち的にも、合わせる事が苦手な子もいるでしょう。だからこそ、子供たちのアイデアを生かし、当日を愉しみにできる運動会を目指す必要があります。

今年も運動会の実施可否の決定は、前日に校長室で6年生代表と協議し、全校放送で開催決定を宣言しました。給食中の放送でしたが、全校に大歓声が響きました（写真左）。大人が全てを決めるのではなく、子供たちと一緒に協議する過程を大切にできなかったのです。

また、開会式に学年アピールタイムを設けたことも、アイデアを生かすための工夫です。さらに、高学年が徒競走の代わりに、自分たちでルールを工夫した団体種目を考えたのも、主体的に参加する姿を目指したからでした。当日までに何度もルールを見直し、自分たちで完成した競技なのです。（写真右）

もちろん、改善点もあろうかと思われませんが、「仲間の心はいつも1つ!!」というスローガンに託した子供たちの思いを、一緒に形にした運動会でした。

物取り競争では、初めてやる競技で分からないところも、PJ(プロジェクト)のみなさんがたくさん考えてくれて、とても楽しい競技になりました。6年生ではうれしい楽しい思い出がたくさんです。みんなの心が1つになった運動会でした。

6年生が書いたこの感想からも、満足感が伝わってきます。

競技や後片付けを積極的にお手伝いくださったサポーターの皆様の動きも素晴らしく、感激いたしました。引き続き子供たちへの下支えをお願いいたします。